

や
し
ま

広報 矢島 12月

平成12年第536号

編成・発行/矢島町企画商工観光課 毎月1日発行
秋田県由利郡矢島町矢島町20 TEL 0184-55-4952
印刷/高瀬館印刷所
Eメール yashima@town.yashima.akita.jp
ホームページ <http://www.town.yashima.akita.jp>



高松市からゆめ大使

今月の主な内容

- | | | | |
|-------|---------|---------|----------------|
| P 2 | 町功労者に四氏 | P 4・5 | 「税についての作文で2名入選 |
| P 6・7 | まちの話題 | P 9 | 矢島スキー場オープン |
| P 10 | ほけんだより | P 12・13 | お知らせ・募集 |

平成12年度 矢島町功労者 に四氏

11月21日、平成12年度矢島町功労者表彰式が日新館において挙行されました。

今年度の功労表彰者は教育一名、自治一名、福祉医療一名、教育文化一名の計四名。それぞれの分野で長年にわたり実績を積み重ねられてきた方々は、既功労者四〇名を前に感慨深げに受章にのぞんでおりました。

矢島町の功労者は二百十八名（内女性十九名）となりました。



・教育文化功労
藤田嘉樹氏(羽坂)

昭和63年10月から平成12年9月まで12年間、矢島町教育委員を努められました。この内平成4年からの8年間は、委員長として本町教育振興に尽力されました。また、昭和57年、矢島町芸術文化協会の創立に貢献され、



・福祉医療功労
木村正夫氏(新道)

矢島小学校、矢島中学校、県立矢島高校の学校医として30年の永きにわたり、児童生徒の健康管理と保健医療向上のためご尽力いただいております。また、矢島町国民健康保険運営協議会委員を歴任、現在は矢島町社



・自治功労
茂木忠雄氏(坂之下)

昭和35年から平成8年まで37年間にわたり統計調査員。国勢調査8回、農林業センサス8回、農業基本調査18回など多くの統計調査事務に携わられ、本町自治発展のため尽力されました。また、民生児童委員を、15



・教育功労
三浦省氏(館町)

昭和22年から平成元年まで44年間小学校教諭。この間22年間は、矢島小学校で教鞭を執られ、本町の教育振興に尽力されました。また、矢島町体育協会副会長を経て平成元年からは会長に就任。社会体育の振興発

初代会長に就任、以来現在も加盟団体のリーダーとしてその手腕を発揮し、本町の芸術文化振興のためご活躍されております。

会福祉協議会理事として、住民福祉の向上にご尽力いただいております。

年、行政協力員を8年間努められるなど、住民福祉の向上と地域活動にご尽力いただきました。

展のためご尽力いただきました。現在は矢島町陸上競技会長として活躍されております。

運動の重点事項

- 1 飲酒運転の徹底追放
- 2 高齢者の交通事故防止
- 3 スリップによる交通事故防止
- 4 夜間の交通事故防止

冬の到来とともに年末を迎え飲酒機会の増加に伴う飲酒運転や路面の凍結などに伴うスリップによる交通事故の増加が懸念されます。また、高齢者の交通事故死亡事故多発の実情等に鑑み、一人ひとりの交通安全意識を高め、正しい交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけ、皆で交通事故防止を図りましょう。

◎年末の交通安全

県民総ぐるみ運動

12月11日～12月20日

◎飲酒運転追放

県民運動強調月間

12月1日～12月31日

全国ジャージー共進会 相庭安一氏の 所有牛を出陳

第三回全国ジャージー共進会が第十一回全国ホルスタイン共進会と併せて、11月1日から5日まで岡山県瀬崎町で開かれました。

ジャージー共進会は十六年ぶりであり、飼養頭数全国一の岡山県から二十頭を始め熊本県等、十二道府県から六十頭が出陳されました。秋田県からは六頭で、当町からは相庭安一さんの所有牛二頭が出陳され、相庭さん及び関係者が参加しました。牛の比較審査は、大変レベル

の高い競い合いで相庭さんの出陳牛も健闘いたしました。その結果は、全国の璧は厚く惜しくも上位入賞はできませんでしたが、秋田のジャージー牛の良さをいかに発揮されました。



宮塚市郎右衛門氏 表彰される

また、共進会では、ジャージーフォーラムが開催され、席上、全国ジャージー酪農振興協議会委員長等を歴任し、永年にわたり

ジャージー酪農の振興に尽くされた功績により、宮塚市郎右衛門氏が日本ジャージー登録協会より表彰を受けられました。

フォーラムでは、発祥地イギリスのジャージー島より参加された世界ジャージー協議会会長アン・パーチャート氏が純粋種を守る大切さについて講演。引き続き秋田県・岡山県・熊本県の生産者がデンマークジャージー協会ラスマス・ジャーパー氏を囲んでデスクッションが行われジャージー酪農の未来について大いに語り合われ盛会に終わりました。



秋田県交通安全 功労者表彰受賞

11月9日(木)、秋田県児童会館において平成12年秋田県交通



安全県民大会が開催されました。

永年にわたり、地域における交通安全のリーダーとして各種活動を積極的に推進し、交通安全思想の普及高揚に努め交通事故防止に尽力された功績が認められ秋田県交通安全功労者表彰を佐藤三男さん(新所)が受賞されました。

今回の受賞をお喜び申し上げますと共に、今後のさらなる活躍をご期待申し上げます。

国民年金事業優良民間 協力者表彰

11月21日、秋田市において、国



民年金事業優良団体等の表彰式が行われ、優良民間協力者として、佐々木ナヲさん(立石)が社会保険庁長官より表彰されました。

佐々木さんは、昭和36年以来国民年金委員として保険料の納期内納付、年金制度のPRなど年金事業推進につとめられました。

食品衛生優良施設厚生大臣表彰 天寿酒造(株) 受賞

食品衛生功労者(社) 日本食品

衛生協会会長表彰
北島七郎氏 受賞

10月20日東京日本橋浜町・明治座に於いて天寿酒造(株)が標記厚生大臣表彰を受賞されました。施設の改善と衛生管理が

みんなの善意

◎社会福祉法人矢島町社会福祉協議会

次の皆様から社会福祉事業のため役立てて下さいとして寄付金を寄託されました。厚くお礼申し上げます。

○七日町、松田アヤ子様 (御主人武氏香典返し)

○おばこ会 たまぐら塾様

社会福祉事業寄付金

○前助役送別会実行委員会様

社会福祉事業寄付金

○栄町、三沢一義様 (御母堂

サクエ氏香典返し)

○砂子沢、佐藤洋一様 (御尊

父正三氏香典返し)

社会福祉協議会より お願い

○デイサービスセンターは、12月29日よりお休みとなりますので、紙オムツや介護用品等についてはお早めにお求め下さるようお願い申し上げます。

○12月1日〜25日まで全国一斉に歳末たすけあい運動が展開されます。集められた募金は、ねたきり者や在宅要援護者、施設入所者等に義援金として贈呈されます。地域の行政協力員さんが伺いますので、皆様のあたたかいご協力をお願いします。

「税」についての作文」で

矢島中学校から2名入選

矢島中三年の

土田 史

穂さん

全国納税貯蓄組合連合会

優 秀 賞

佐々木 真紀子さん

秋田県納税貯蓄組合
連合会長賞

全国納税貯蓄組合連合会が主催する第三十四回「税についての作文」で、本荘市由利郡管内からは、一千四名の作文が応募され矢島中学校からは右記兩名がみごとに入選を果たしました。おめでとございます。兩名の作品をご紹介します。

「税」が作りあげるもの

土田 史 穂

私にとって「税」はとても遠い存在だと今までずっと考えてきた。しかし、本当にそうなのか。私は自分自身の中での税に対する認識に疑問を持つようになった。自分達が納めている税金の使途に自分が目を向けることで、私は「税」をより身近な



ものを感じるようになった。

今年の冬にカナダに行った時驚いたのは、日本での消費税にあたるものが十四%もあったことだ。初めてのカナダの町を見た時、私は何て美しいところなんだろうと思った。それは、外観だけではなく、内面的にも感じられる美しさだった。平成九年度に日本の消費税が三%から五%に変わった時、マスコミを含め私の周囲でも不満の声が上がった。消費税が五%になったことを知っていてもその税金の使い道を知っている人がどれ位いただろう。多くの日本人に比べて、消費税十四%をきちんと納めているカナダの人々はどんなのだらう。あの私が美しいと感じた石造りの古い町並みには、それを維持する為に多くの人々の税金が色々なかたちで使われていたからこそ、そういう街づくりができるのだと思う。そう気付いた時、私は自分の「税」に対する認識がどんなに恥ずかしいものだったのかを思い

知った。

ある漫画にフランススルイ十六世の妃、マリー・アントワネットが、自分が今まで使い続けたお金の全てが、国民から搾り取った税金だということを初めて知る場面があった。それまで気付くことはなかったのかと驚かされたが、今思うとなんて自分と重なるのだらう。外から日本や自分を眺めただけで、いかに自分が「税」に支えられているかが解った。毎日歩く道路に毎日通う学校、気軽に使っていた公共施設、所狭しと立ち並ぶ道路標識に街灯・・・。ちよつと考えるだけでも、こんなに浮かんでくる。私の知らないところでもまだまだ使われているに違いないと思う。

もしこれらの全てが無くなつてしまつたら、どんなに困るんだらう。それはもう、原始時代のような生活に戻るのではないだらうか。長い長い歴史の中で人間は「税」を通して色々なものを作りあげてきた。京都の古い寺社等の歴史的建造物や文化的遺産。今もその保存の為にまた「税」が使われている。物質的にも精神的にも「税」が作りあげてきたものの存在は大きいと感じた。そして自分の生活を人間らしくより向上させてくれている「税」にとっても感謝した

税に関する表彰

さる11月1日(水) ホテル仙台プラザにおいて、今野政雄(山寺)さんが仙台国税局長納税表彰を受賞されました。今野氏は、平成2年に矢島町青色申告の普及や青色申告会の組織拡充と活性化に尽力されたほか、平成5年には本荘由利青色申告会連合

「全国青少年

健全育成強調月間中

少年弁論大会開催」

全国青少年健全育成強調月間(11月中)のスローガンは「大人が変われば、子どもも変わる」で運動が行われました。

青少年の健全な育成を図っていくためには、親や大人が自ら



会副会長に就任、以来会長を補佐するとともに上部団体である秋田県青色申告会連合会常任理事にも就任され、税務行政の円滑な運営に寄与された功績によりこの度の表彰となりました。

の行動を問い直し、地域社会が青少年が多様な人々との交流や社会体験等の実体験を積み重ねることのできる社会環境を整備していくことが大切です。

皆が青少年を取り巻く環境に関心をもち、有害環境を改善し、積極的に声をかけましょう。

11月2日には地域安全並びに交通安全思想の高揚を目的に40回矢島地区(矢島町・鳥海町)少年弁論大会が矢島中学校を会場に開催され、8人の中学生が自己の体験や考えを堂々と主張しました。

成績は次のとおりです。

(矢島中学校のみ)

◎地域安全の部

第3位 佐々木真紀子(3年)

第3位 三浦沙記(2年)

◎交通安全の部

第2位 佐々木瑠璃(1年)

第3位 小番敬斗(3年)

いと思つた。

以前の私の様な間違つた認識を持ち続けている人は、決して少なくないと思う。もつともつとみんなが「税」への認識を改めて、本当の「税」の姿を理解するべきだと思う。「税」というのは奪われるものではなく、与えてくれるものだ。自分も、世の中の為に役立っているんだという自信を持てるようになる為にも・・・。

『今をつくるもの』

佐々木 真紀子

二人暮らしの私にとって、こういう所があつて助かるわ。今年、冬、私はボランティアとして、矢島のデイサービスセンターで開かれたお茶会に参加した。私達はおじいさんやおばあさん達に抹茶やお菓子をふるまい、色々なお話をした。そこで、私も温かな一時を過ごすことができた。その時に、あるおばあさんが、笑顔と共に語ってくれた言葉である。



そして、夏休み。今度は、最近完成したばかりの特別老人介護施設「ふるさと矢島」でのボランティア活動に参加した。私は、友達と組んでオムツたみという仕事を任された。初めのうちは、友達と会話をしながら作業していたが、だんだん多くこなしていくうちに、自然と会話が消え、一枚一枚心をこめて丁寧に取り組むようになっていった。なぜなら、やっている中で、あの時のおばあさんのうれしそうなお顔が浮かんできたからだ。

しかし、こうしてボランティア活動をしているうちに、ふとある疑問を持った。「こういう施設は、何のお金で建てられているのだろうか。」かと・・・。

そこで、私は帰宅してからすぐに母に聞いてみた。すると母は、「それはね、私達が納めている税が生かされているのよ。確かに、税を納めるといふことは大変なことだけれど、その分だけ便利で豊かな生活を送ることができると言ふよ。」と教えてくれた。

緑豊かな矢島町。そして、環境を大切にしようと呼びかけられている今、町でも、下水道処理施設の建設、道路整備など生活環境の改善だけでなく、自然保護活動などもさかんに行われ

ている。これらのことにも税というものが生かされているのだという。私は、今まで税に対して甘い考えや意識を持っていた自分が、とても恥ずかしく思えてきた。

今思えば、税のおかげで、豊かな自然の中で便利で快適な生活を送ることができた。だけでなく、ドリーム事業や海外研修、そして三年間充実した中学校生活を送ることができた。その中でさらには、税に対する考えまで変えてくれた。

「税は自分に関係ない」こんな甘い考えが、自然を失い、便利さも失う。そして、核家族化や高齢化が進む一方で、多くの人達にこれから先の不安を与えてしまう。

激動の厳しい今の時代。私達は、その今を乗り越えて生きていかなければならない。だからこそ、税の意味をもう一度理解し、しっかりと納税できる人になりたい。そして、いつか様々な面でも多くの人達に貢献できたら・・・と思う。

自分達が、今を作るのだという気持ち忘れずに・・・。

除雪にご協力を！

町民の皆様には除雪作業の安全を図る上からも、次のことに注意していただきご協力をお願いいたします。

- 一、路上での違法駐車及び故障車の放置はしないでください。
- 二、各家庭の出入口の除雪については、それぞれの家庭で協力をお願いします。
- 三、道路の退避所を個人的に利用しないでください。
- 四、除雪作業車の近くに車を停止させないでください。
- 五、除雪作業車の無理な追い越しはやめてください。
- 六、屋根の雪、宅地の雪は道路に持ち出さないでください。
- 七、屋根の雪が道路に落ちる構造の方は、落ちた雪を自分で処理してください。
- 八、道路上の支障物件（建築資材及び自動販売機等）を速やかに除去してください。
- 九、雪の下になる石垣、橋板、消火栓等には赤い布等でしるしを付けてください。
- 十、子供を道路上で遊ばせないようにしてください。排雪作業のときは特に危険です。
- 十一、積雪が多くなり、個々で排雪する場合は、木片、ガラス、

油の染みだ布、ごみ等は絶対に入れないでください。

十二、町営駐車場の除雪や排雪は夜間及び早朝に行いますので、午後十時から翌朝六時三十分までは絶対に駐車しないでください。（特に田中町町営駐車場には防火水槽があり、災害時に使用できなくなると大変です。）

十三、道路にはみ出ししている、垣根などの枝は各自で除去してください。

十四、流雪溝利用部落の方々は、雪を投入されるときに水が流れていることを確認し、ルールを守り使用してください。蓋の開け閉めは丁寧確実にお願いします。

十五、除雪に対する意見、要望がありましたら必ず各部落の道路河川愛護会長を通じて連絡してください。



おめでとう満一〇〇歳



11月24日、太田多賀さん（七日町）が満一〇〇歳を迎えられました。太田さんには満一〇〇歳を祝い、矢島町から長寿祝い金と顕彰状が贈られました。太田さんは明治33年11月24日生まれ。19歳で太田呉服店に嫁ぎ95歳まで店先でお客様さん

の話相手をするなど活躍しておりました。子供3人、孫10人、ひ孫22人に恵まれております。現在は骨折が元で、寝たきりの生活となっておりますが、健康と栄養面に配慮しつつ、好物のうなぎとヨーグルトを毎日食べているとのことでした。矢島町の長寿顕彰者は、平成4年条例制定以来、今回で4人となりました。今後一層の、長寿をご祈念申しあげます。

矢島駅にぎぶとん寄贈

11月22日、老人クラブ第一百寿会（相庭安吉会長。会員42名）より手作りの暖かい座布団が矢島駅に寄贈されました。これからの寒い季節、利用者に少しでも役立てばとのこと、昭和61年より続けられております。心も体も温まる座布団をありがとうございます。



トイレ付“おばこ号”登場



12月2日（土）午前7時8分トイレ冷暖房付新車両の「おばこ号」が発車します。新しく導入された車両には今までにはなかったトイレや暑い矢島町には必要不可欠と言ってもいい「冷房」がついており、車内も明るく、落ち着いた雰囲気の色合いのシートに大きめの窓、小さなテーブルもついており、ゆったりとした時間を過ごせます。昇降ドアも従来より少し大きめになり、「半自動ドアスリッチ」で乗客が車両側、ホーム側の両方からスリッチで開閉することができるようになりました。これからは、従来の車両と一緒に矢島一本荘間を走りま

すので、是非ご利用下さい。

由利高原鉄道では、駅舎の二階会議室とコミュニティルームをお貸しします。申し込み、お問い合わせは56～2736まで。

第22回本荘市由利郡卓球選手権大会



六年男子の部
3位

- 佐藤 慎吾（新 町）
- 佐々木博喜（九日町）
- ベスト8
小番 嘉文（新 所）
- ベスト16
木村 勝人（長 泥）
- 蒲田 彰大（山 寺）

伊藤 謙吾（下山寺）
今野 浄二（山 寺）

五年男子の部
ベスト8

- 小番 謙（新 町）
- 三浦 公貴（新 町）
- 草野 葵（水 上）
- ベスト16
木村 祐太（新 荘）
- 麻生 翔（田 沢）
- 佐藤 光成（上 野）
- 山科 貴雅（針ヶ岡）
- 小松 雄介（小 田）
- 阿部 寿哉（下山寺）

四年男子の部
準優勝

佐藤 祐喜（新 所）

四年女子の部
準優勝

金子 俊恵（針ヶ岡）
（3年生）

～まちの話題～

産業文化祭



11月1日から3日かけ矢島町産業文化祭が開催されました。期間中は日新館、屋内運動広場などに、町芸術文化協会会員、学生や一般の方々などの作品が展示され、会場周辺は芸術文化一色となりました。

3日に開催された第15回全町芸術発表会では、町民ホールに観客250名を集め、矢島町芸術文化協会会員の方々それぞれの日ごろの成果を披露。2部構成37の曲、演目に拍手喝采がとび、花があがるなど会場は大盛況でした。

また、昨年に続き今年も高松市から特産品などを出展。さぬきうどんの実演販売、高松ゆめ大使(鎌田さん)などが来町し、

高松市をピーアール。会場を訪れたお客さんとの会話などを通して、矢島町との友好をおおいに深めておりました。



ゆめ大使鎌田さん

矢島町社会福祉大会



11月26日、

日新館において平成12年度の矢島町社会福祉大会が開催されました。この大会は第一部式典と第二部体験発表、寸劇で構成されており。

初めに、社会福祉協議会長(町長)が社会福祉功労者を表彰。続くあいさつの中

で「日本は世界一の長寿国になったが、質的には短い寿命である。」と高齢化社会の背景を紹介。介護の充実も大切ですが、介護を受けなくても健康で暮らせる社会づくりがより大切であることを強調しておりました。体験発表では小、中、高校生



佐々木美香さん

3団体2名による体験が紹介されました。この内、矢島小学校手話クラブと4年生有志の25名が、歌「未来へ」を手話で披露。また、矢島高校のボランティア部に所属する佐々木美香さんは、ボランティア宿泊体験を通して、「だれかのためにと思ってやるのが、最後は自分の力になる。人を思いやる心地のよさは、一度味わったら忘れられない。」とボランティアの楽しさを紹介。合川高校介護福祉科の熊谷真理子さん(由利町)は、「介護サービスを利用する方々には、施設を利用していただいているのだからという感謝の気持ち持って接することが大切です。」と介護に取り組む姿勢を紹介しておりました。



熊谷真理子さん



昭和16年の開業以来親しまれてきた駅舎が老朽化。新たに木造でコミュニティースペースを有する駅舎が誕生した。

新駅舎オープン

2000年 主なニュース

2000年も残すところあと1ヵ月
今年の主なニュースを
ひろってみました



矢島保育園完成

矢島保育所の老朽化に伴い建設を進めていた統合保育園が完成。4月より定員150名でスタートした。



ふるさと矢島竣工

平成10年度に着工した特別養護老人ホーム「ふるさと矢島」が竣工。入所定員50名、短期入所者定員10名で開設した。



佐藤町長無投票再選

任期満了に伴う町長選挙が6月20日に告示された。昨年12月に2期目の立候補を表明していた現町長が再選を果たした。



市街地を中心に整備が進められてきた公共下水道が、一部4月よりサービスを開始した。すでに供用開始している農業集落排水整備事業とあわせ、普及率81%に達している。

公共下水道供用開始



4月1日より介護保険がスタート。要支援から要介護5の6段階に分けたサービスのほか、非該当者には町が独自の支援を開始した。

介護保険スタート



三浦アキエさん（小板戸）は1月7日、太田多賀さん（七日町）は11月24日に満100歳の誕生日を迎えられた。矢島町の長寿顕彰者は条例制定以来4人となった。

満一〇〇歳おめでとう



明治27年以来12個分団を維持してきた町の消防団が、団員の減少などにより再編。平成13年4月から6個分団12部制となる。

消防団再編大綱決定

廃テレビなど4品目有料化 「家電リサイクル法」 の実施

平成13年4月1日より「家電リサイクル法」が施行されます。対象になる製品は「テレビ」「エアコン」「冷蔵庫」「洗濯機」の4品目です。

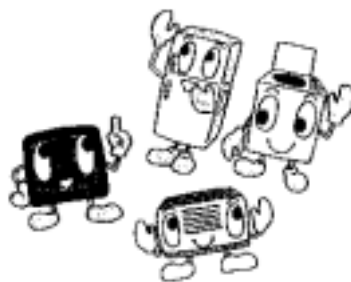
家電製品は大部分がごみとして埋め立てられています。その反面、リサイクルが可能な資源を多く含んでおり、家電製品のリサイクル効率を上げ、資源の有効利用及び地球環境問題の改善をはかるために「家電リサイクル法」ができました。

平成13年4月1日以降に「テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機」を処分するときは、リサイ

クルの窓口となる家電小売店等に料金を払い引き取ってもらうこととなります。
(消費者負担額 全国一律)

テレビ	2、700円
エアコン	3、500円
冷蔵庫	4、600円
洗濯機	2、400円

この金額に収集、運搬料金がかかります。



第十四回小学校 「防火ポスター展」

本荘市、由利郡内から一、〇
〇八名の作品が寄せられ、矢島
小学校からは次の方々が受賞さ
れました。

- 最優秀賞 大井明子 一年
- 優秀賞 金子莉絵 一年
- 入選 土田大貴 一年
- 土田史華 一年
- 茂木 建 四年
- 佐々木実紅 四年



金子あや 六年
椎川 将 六年

「スポーツ少年団交流会」



10月28日(土)午後から、地域社会の一員としての自覚を持つことをねらいとして、一二〇人程の団員たちが奉仕活動を行いました。例年、団活動の一環として、スポーツ等の交流を行っているのですが、今回のように地域に踏み入っての活動は初の試み。団員と親の会(指導者)の皆さんが、ふるさと矢島・デイサービス・ふれあい広場周辺・川べりに別れて、奉仕活動(清掃・おむつたたみ等)を展開しました。約30分の短時間でしたが、それでも集まったゴミは、指定収集袋にぎつしり三袋。これからも、町内各地域に役立つ活動を期待しています。

鳥海高原矢島スキー場オープン

12月8日(金)スキー場がオープンします。
リフト料金は、お客様の要望にお答えした券種の導入や価格についても安く設定しております。

	大人	子供	高校生・レディス・シルバー
1時間券	1,000円	500円	700円
2時間券	1,400円	700円	1,000円
4時間券	1,700円	900円	1,200円
フリー券	2,200円	1,100円	1,600円
ナイター券	1,500円	800円	1,000円

ナイターもOK

〈町民特別割引〉
シーズン券 大人 30,000円が 13,000円に割引
子供 20,000円が 無料
・小・中学生は学校を通してとりまとめいたします。
・未就学児はスキー場リフト券売場へ写真(よこ3センチ×たて4センチ)2枚を持参の上お申し込み下さい。
高校生・レディス・シルバー 23,000円が 10,000円に割引
その他 親子、カップルのシーズン券やフリー券もございます。



スキー場に3本のリフトがあり、第1ロマンズリフト～第3ロマンズリフトと、建てた順番で命名しておりましたが、今回解りやすく親しみのある名前を募集しております。採用者にはフリー券をプレゼント。お申し込みは役場観光係まで。(55-4953)

ほけんだより

〈健康シリーズ〉

21世紀の国民健康づくり運動がスタートします。日本の平均寿命は、戦後生活習慣の改善や医学の進歩により急速に延びており、2006年には65歳以上の高齢者が20%を超え世界一の超高齢化社会になると見込まれています。このような人口の急速な高齢化とともに痴呆や寝たきりなどの増加は深刻な社会問題とも

なっています。そこで21世紀の日本をすべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会にしようという考えが厚生省より出された「健康日本21」です。そのために、一人ひとりがある程度生活習慣を見直し健康でいる期間（健康寿命）を伸ばしていけるように健康づくりに努めましょう。

〈相談・健診〉

◎なんでも健康相談
日時 12月20日（水）
午前9時30分～11時30分

場所 保健センター
※相談だけでなく、体脂肪率や血圧測定、赤ちゃんの計測などもしております。お気軽にいらして下さい。

◎乳児健診

日時 12月20日（水）午後1時
場所 保健センター
対象 平成11年12月生
平成12年2・5・8月生

持参するもの

母子手帳、記入したアンケート用紙、バスタオル
※8月生の方は健康相談票を持ってきて下さい。

〈予防接種〉

◎ポリオ
日時 12月22日（金）午後1時
場所 保健センター
対象 平成11年2月～
平成12年8月生まれ

※母子手帳と記入した予防票を持参して下さい。

12月1日は
世界エイズデーです

世界中で220万人以上、日本でも2千人以上の患者がエイズで苦しんでおります。エイズについての正しい理解によりまん延を防止し、患者・感染者への差別と偏見をなくしましょう。本荘保健所では毎月第3月曜日に無料の個別相談・検査を実施しております。12月1日は夜間相談（午後6時～9時）も実施しております。（要予約）悩んでいないでまずはお電話下さい。（22～4122）

〈こころの健康相談室〉

次のようなことでお困りの方・家族の方は、お気軽にご相談ください。

☆職場や家庭内の人間関係で困っている

☆アルコール関連の問題がある

☆心の病や社会参加についての不安

☆ストレスによる心身の不調

☆思春期の子供の問題に関すること

☆お年よりの健康に関すること

☆その他、心の悩みに関すること

◎日時 12月6日（水）

午前10時～午後3時

◎場所 秋田県社会福祉会館

◎スタッフ 精神科医師、心理判定員、保健婦

〈予約先〉

秋田県精神保健福祉センター
電話018～892～3773

不妊とこころの相談センター

対象 不妊に悩む夫婦等
相談内容・不妊とは

・不妊治療や検査について

・不妊治療を行っていない医療機関について

・不妊治療における身体と心の悩み等

相談日 毎週水・金曜日（祝祭日・年末年始は除く）
午後2時～4時まで

場所 秋田大学医学部付属病院1階産科婦人科外来内「不妊とこころの相談センター」

相談方法 面接（予約制）
電話018～884～6666

（月～金曜日の午前9時～午後5時まで電話予約可能）
費用 無料

このたびは献血回数50回に達した当町荒沢字荒沢の土田真澄さんに献血功労者として本荘由利健康福祉センター所長より感謝状が贈呈されました。土田さんには今後も献血思想の普及啓発をお願いし感謝申し上げます。

健康的な毎日を送るために

食習慣

- 栄養のバランスを考え、多種の食品をとる
- 脂肪や塩分のとりすぎに注意する
- 朝食をしっかりとする

運動習慣

- まずは歩くことから始めてみる
- 1日20分以上運動する
- できるだけ毎日続ける

休養

- 規則正しい睡眠をとる
- 入浴でその日の疲れはその日のうちにとる
- 1日に数十分でいいから自分の時間をつくる

飲酒

- 自分のペースで飲む
- 食べながら飲む習慣をつける

喫煙

- 喫煙している人は節煙から禁煙に
- お酒を飲みながらの喫煙はやめる

カンタン生活習慣改善ポイント

「こちら情報センター」

「パソコン講座」

好評につき

第2段、開催！

町では、10月より情報化を推進するため、女性や高齢者を対象にしたパソコン講座を開催しております。

両講座とも好評を得ることができ、大変うれしく思っております。

現在、国では多くの人が情報機器の操作を行なえるようにIT(情報技術)講習会を開催し、情報技術の普及を行なおうとしております。町でも継続した講習会を開催し、皆様が気軽に情報を得られる環境を作っていくことを考えております。

パソコン操作を覚えたい方やインターネットをやってみたい方は、是非、講習会を受講して今後の生活にご活用いただきたくご案内いたします。

●開催時期

1、「パソコン年賀状

作成講座」

12月11日・12日(2日間)

2、「レディースパソコン

初歩講座」

1月22日・24日・26日・29日・31日・2月2日

(6日間)

3、「シニアパソコン

初歩講座」

2月5日・7日・9日・13日・14日・16日・19日・21日・23日・26日

(10日間)



●時間

午後1時30分〜2時間

●場所

矢島町役場

●対象

1 パソコンの基本操作ができる方

2 町内在住の女性

3 町内在住で60歳以上の方
各講座とも定員10名

●内容
1 ワードを活用した
年賀状作成

2 パソコンの基本操作、インターネット、メール等

●受講料

1 五〇〇円
2 一、〇〇〇円

●申込み

役場企画商工観光課
(55〜4952まで)

定員になり次第締め切ります。

TV電話ビデオ・オン・デマンド装置
下記電話番号にダイヤルすることにより各種情報が見られます。

行政・福祉情報	29-5020
観光・イベント情報	29-5021
公共施設予約状況	29-5032

ホームページアドレス
<http://www.town.yashima.akita.jp>
メール
kikaku@town.yashima.akita.jp

やまめ十一月例会

紺青の淵に映えたる紅葉かな

井島 竹波

毛糸編み晩年の時間埋めてゆく

金子 京子

鳥海を仰ぐ山麓なめこ汁

佐藤 勝男

麦時きの母の丸るき背夢に立つ

佐藤アヤ子

ふくろうや月光妻の髪ぬらす

畑中 八島

第三〇七回 矢島短歌会

十月例会 秀歌

講師 藤田嘉樹選

「曼珠沙華」「花のままごと」古里は有難きかな夢見せくるる

佐藤アヤ子

五人いつたりの子と揃い見る宵宮は四十年ぶりと神輿を拝む

土田 マサ

亡き夫の後生を願ひ恐山に石を積みし日まだ若かりき

伊東 房代

老いし友「私らの時代」終りしとボツリと語る顔わびしげに

佐藤 ヤス

亡き姑が夜なべに縫いし刺し子あつめ宝にせんと虫干しをする

東海林ツネ

小豆煮る時の長きに椅子に掛け歌集読みつづ皺水を差す

佐々木リヨ

診察を待つ間に秋の日の移る

佐藤木の实

吟詠の満堂庄す文化の日

佐藤柳四郎

落葉焚く煙り目にしむ保育園

鞍馬 賢治

ふるさとのふれあいの味文化の日

齋藤 茂

山風にゆれ移り来る柿のれん

齋藤 瑞

芋からの皮むく指の黒く染む

佐藤トキ女

冬ざるるもの一つに無人駅

北島やす雄

生きんとてカツラ誂えし妹のこバルト照射も甲斐なく逝きぬ

富田 かよ

中秋の円まどかに冴ゆる月の面離り住む孫を写して欲しも

佐藤 幸子

花活けるボランティア終え帰る道紺碧の空に半月浮かぶ

金子 京子

階上にゆるくスロープめぐらせ

新矢島駅

老いにもやさし新矢島駅

佐藤真都子

馴れ馴れしき野良猫に瞬時捕わるる愛鳥インコ声を残して

佐藤 洋子

皇帝の権威を示し銅剣は二千年

余の光を宿す

講師詠

金子 四郎

昨夜の露こぼすともなく揺れや

まず亡き母好みし白萩の花

藤田 嘉樹

お知らせ 募集

木造建築物の

一般公開を実施

歴史交流館建築工事は、国の木造公共施設等整備事業の補助により行われており、いよいよ形が見えてくる段階になりました。天井や壁等を付けない状態の木造構造をご覧いただくため、次のとおり一般公開を行います。工事完成後も一般公開は行いますが、工事途中で、木造建築の木組みや構造材料を見る機会はなかなかありませんので、ぜひこの機会にご覧いただき、木造建築の良さを再認識ください。

なお、既存施設（八森苑）改修部分は、工事が進んでおり木



組み、構造材が一部しかご覧いただけない場合がありますのでその際はご了承ください。

公開日時 12月15日（金）

午後1時～午後3時

（午後1時より設計者等の説明を予定）

場 所 矢島町矢島町（家中）

車は役場駐車場をご利用ください。

無料特設

人権相談所開設

人間関係や人権問題で悩んでいる方のために、法務局職員、矢島町人権擁護委員が次により相談に応じます。

相談内容は、一切秘密に取り扱いますので、お気軽にご利用ください。

相談日 12月6日（水）

午前10時～午後3時

相談場所 矢島町福祉会館

相談内容 土地、建物、登記、相続、戸籍、夫婦、いじめなどに

関する問題

ハローワーク本荘

よりお知らせ

一、Aターン就職希望者と家族の方を対象に、「Aターンサポートコーナー」を設置します。就職に関する各種情報を取り揃えお待ちしております。

二、平成13年度から雇用保険制度が変わります。

主な改正点は

1 離職理由により給付日数が異なります。

2 育児、介護休業給付の給付率の引き上げ

3 パートタイマーの加入条件が拡大

4 雇用保険料率の引き上げ

問い合わせは商工会まで

電話562206

のでお気軽にご利用ください。

期間 12月25日～28日

1月4日～5日

二、平成13年度から雇用保険制度が変わります。

主な改正点は

1 離職理由により給付日数が異なります。

2 育児、介護休業給付の給付率の引き上げ

3 パートタイマーの加入条件が拡大

4 雇用保険料率の引き上げ

問い合わせ ハローワーク本荘

電話2223421

5%お得な 矢島町共通商品券販売

※12月1日より特別セールとして限定五百万円分の商品券を、

一万円を一口として5%プレミア（おまけ）付で販売いたします。

※お歳暮の贈答品や忘年会、新年会の景品としてご利用下さい。

※お求めは矢島町商工会まで（加盟店でも取次ぎいたします）

※先着順ですので完売の際はご容赦下さい。

問い合わせは商工会まで

電話562206

新春懇談会のお知らせ

恒例の新春懇談会を次のとおり開催致します。どなたでも参加できる懇談会ですので、多数の皆様の参加をお待ちしております。

主 催 矢島町

と き 平成13年1月7日（日）

午後1時30分 開会

ところ 矢島町日新館

内 容 挨拶の後、参加者の皆さんとの懇親会

懇親会費 二、〇〇〇円

（当日受付でいただきます）

申し込み 12月22日まで役場総務課へ申し込みして下さい。

電話554951

（個人通知は致しませんので本紙面をもって案内とさせていただきます）

年末年始の戸籍届出

出生や死亡、婚姻届などについては、8時30分～5時15分の間は当直室で受付いたします。それ以外の時間は、役場当直室のところに夜間受付用の机を用意してありますので、そこに書かれてある手順により提出して下さい。

なお、住民票・印鑑証明など各種証明書等の発行に関しては受付できませんので、必要な方は

12月28日までにお問い合わせいたします。

矢島町シルバー人材センターからののお知らせ

8月1日からシルバー人材センターが開設となり、町民の皆様から御利用頂いておりますが利用者からも、働く方から難しい仕事をしてもらえるという事で大変喜ばれております。

矢島には、もうすぐ冬将軍がやって来て毎年の恒例作業であります除雪作業をする季節が近づいて来ました。

シルバー人材センターでは、流雪溝や軒下の除雪作業も手伝っております。

人材センターに除雪をお願いしたいという方、又、人材センターに登録してくれる方を受付しております。

除雪作業は老人世帯にとつては大変な仕事です。是非シルバー人材センターを利用して下さい。尚、利用料金は次のとおり決めております。

○流雪溝の除雪

※1回の派遣で千円

○流雪溝外の除雪

※1時間あたり千円

又、除雪の外種々の仕事の御手伝いしております。小さな仕事でも一時間単位で頼まれて

おりますので御気軽に利用して下さい。

受付窓口は次のとおりです。
矢島町社会福祉協議会
(矢島町デイサービスセンター内)

電話 5652910
矢島町シルバー人材センター

冬休み高校生の生活心得

●禁止していること

- 1、夜間の外出、無断外泊
- 2、テレクラ、飲酒・喫煙を伴うカラオケボックスの利用
- 3、飲酒、喫煙、薬物乱用
- 4、自動車、自動二輪車(原付自転車含む)の運転および無許可の免許取得

●学校の許可を必要とするもの

- 1、アルバイト
- ※次の業務は許可しません
- 1 危険・有害業務
- 2 夜間業務
- 3 酒類を提供する業務
- 4 自動二輪車(原付自転車含む)や自動車をを用いる業務
- 5 責任が重すぎる業務
- 2、校外の集会、諸活動への参加
- 3、旅行、演奏活動等

自衛官等募集案内

防衛庁では次のとおり「平成12年度自衛隊生徒」を募集しています。

○受付締切

平成13年1月5日(金)

○試験日

平成13年1月7日(日)

○試験場 鶴舞会館

○応募資格

平成13年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子(平成13年3月中学校卒業見こみの者含む)

○身分等

- ・特別職国家公務員
- ・三年後高校卒業資格あり
- ・衣食住無料
- ・毎月一五五、九〇〇円の俸給
- ・ボーナス年四・九五ヶ月分

☆詳しくは自衛隊本荘募集事務所(電話2233479)まで

住宅金融公庫からのお知らせ

住宅金融公庫の住宅ローンをご返済中で、最近の不況に伴う失業や収入の減少などで返済にお困りの方に対しては、次のような返済方法の変更を実施しています。

一 返済期間の延長

(最長十年)

二 元金据置期間の設定
(最長三年)

三 元金据置期間中の金利引下げ
お取扱いは、平成14年3月末までです。

詳細については、住宅金融公庫東北支店(電話0222275003)又はご返済中の金融機関の相談コーナーまで。

活用して下さい

茸の廃菌床(オガ屑等)の再活用をお願いします。

◎活用方法等(無償です)

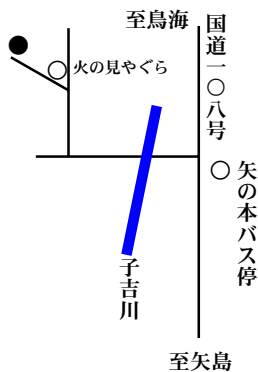
- 堆肥づくり
- カプト虫の養殖
- 畑に利用(秋散布、春耕転)
- その他

◎運搬方法

各自トラックにバラ積みか、袋に入れて運搬して下さい

◎連絡先

鳥海町大栗沢
佐藤 吉郎
電話572249



平成十二年度後期 危険物取扱者試験の案内

一、試験の種類、期日、受験者の範囲及び試験会場
○全種類
平成13年1月14日(日)

一般、高等学校生徒対象
秋田経済法科大学

秋田桂城短期大学
横手工業高等学校

○乙種4類、丙種
平成13年2月3日(土)

高等学校生徒対象
秋田工業高校他

詳細については消防署に問い合わせして下さい。

年末・年始の火災予防について

これから冬に向かい、火を使うことが多くなり火災が発生しやすくなります。

鳥海山ろく線 ダイヤ改正

平成12月2日から

上り		下り	
矢島発	本荘着	本荘発	矢島着
5:57	6:37	7:08	7:49
7:08	7:49	8:08	8:49
8:08	8:49	9:08	9:49
9:08	9:49	9:56	10:37
9:56	10:37	10:55	11:36
10:55	11:36	12:15	12:56
12:15	12:56	13:36	14:17
14:40	15:20	15:38	16:19
15:38	16:19	16:35	17:16
16:35	17:16	17:26	18:07
17:26	18:07	18:16	18:57
18:16	18:57	19:04	19:45
19:04	19:45	19:55	20:36
19:55	20:36	21:11	21:52
21:11	21:52	22:00	22:41

おらの汽車
おばこ号

10月の1日
平均乗車人数
1,324人

救急月報 (10月)

	出動件数	搬送人員
交通事故	1件	1人
一般負傷	5件	5人
急病	7件	7人
その他	6件	6人

矢島地区消防組合

暖房機器の取り扱いには、十分注意しましょう。